

# 2014年度 大阪ガスグループ経営計画

2014年3月13日  
大阪ガス株式会社

## 1. 2014年度の重点課題

2014年度は、①経済の回復基調を活かし、成長市場における事業拡大の取り組みを加速する年、②明らかになる電力・ガスシステム改革の方向性を踏まえ、エネルギー事業のさらなる進化に取り組む年、③中期計画の初年度として、目指す姿の実現に向けて確かな一歩踏み出す年と位置付け、以下の3つを重点課題と位置づけて参ります。

1. ガス事業の強化を推進
2. 次なる「事業の柱」の確立
3. 事業基盤の強靱化

## 2. 収支計画

2014年度は、連結の売上高は1兆6,055億円、営業利益は995億円、経常利益は1,000億円、当期純利益は655億円を計画しています。

	グループ連結			大阪ガス個別		
	2013年度 見込み (億円)	2014年度 計画 (億円)	増減率 (%)	2013年度 見込み (億円)	2014年度 計画 (億円)	増減率 (%)
売上高	15,045	16,055	+6.7	11,935	12,865	+7.8
営業利益	990	995	+0.5	590	620	+5.1
経常利益	1,000	1,000	±0.0	650	675	+3.8
当期純利益	355	655	+84.5	210	485	+131.0
SVA	-27	329	---	4	241	---
ROA	2.2%	3.8%	---	1.7%	3.7%	---
ROE	4.6%	8.2%	---	3.6%	8.1%	---

2013年度見込みは2013年12月20日発表の業績予想

※ 2014年度の前提：原油価格（全日本C I F 価格） 110ドル 為替レート 105円  
〔2013年度の予想：原油価格（全日本C I F 価格） 110ドル 為替レート 100円〕

### 3. ガス販売量・販売電力量計画

2014年度は、大阪ガス個別のガス販売量で8,452百万m<sup>3</sup>（2013年度(見込み)比0.6%減）、販売電力量で8,421百万kWh（2013年度(見込み)比1.2%増）を計画しています。

【ガス販売量（大阪ガス個別）】		45MJ/m <sup>3</sup> 換算
家庭用	2,215百万m <sup>3</sup>	(+0.7%)
商・公・医用	1,461百万m <sup>3</sup>	(▲3.5%)
工業用	4,296百万m <sup>3</sup>	(▲0.5%)
他ガス事業者向け	479百万m <sup>3</sup>	(+3.3%)
ガス販売量合計	8,452百万m <sup>3</sup>	(▲0.6%)
お客さま数（年度末）	7,162千件	(+0.5%)

(連結) ガス販売量	8,483百万m <sup>3</sup>	(▲0.5%)
------------	-----------------------	---------

【販売電力量】	
合計	8,421百万kWh (+1.2%)

( ) 内は2013年度見込みからの増減率

### 4. 投資計画

2014年度は、連結では1,640億円の投資を計画しています。  
なお、大阪ガス個別の設備投資は、540億円の計画です。

			投資額
既存事業 品質向上投資			520億円
エネルギー事業	国内		300億円
	海外		520億円
ライフ&ビジネスソリューション事業			300億円
新規事業 拡大投資			1,120億円
投資額合計			1,640億円

(参考：上記のうち) 大阪ガス個別での設備投資	540億円
-------------------------	-------

## 5. 2014～2018年度 供給計画

### (1) ガス需要見通し

2014年度以降は、家庭用におけるエネファームや業務用における天然ガスコージェネレーションなど分散型エネルギーシステムの普及や燃料転換、加えて2014年度開通予定の姫路・岡山ライン沿線の需要開発を見込み、2018年度のガス販売量は8,996百万m<sup>3</sup>となる計画です。この間の5年間の年平均伸び率は1.1%です。

(単位：百万m<sup>3</sup>、m<sup>3</sup>/月、%)

	2013年度 (平成25年度) (実績見込)	2014年度 (26年度)	2015年度 (27年度)	2016年度 (28年度)	2017年度 (29年度)	2018年度 (30年度)	13～18年度 年平均 伸び率
家庭用	-3.2 2,200	0.7 2,215	-0.5 2,204	-0.2 2,200	-0.4 2,191	-0.3 2,184	-0.2
業務用計	1.3 5,835	-1.3 5,758	1.5 5,841	2.4 5,982	3.0 6,163	1.0 6,221	1.3
商用	-2.1 879	-3.5 848	0.7 854	-0.2 852	-0.2 850	-0.3 848	-0.7
工業用	2.3 4,320	-0.5 4,296	1.7 4,369	3.0 4,501	4.1 4,684	1.3 4,746	1.9
公用・医療用	-0.9 636	-3.5 614	0.7 618	1.8 630	-0.2 629	-0.3 627	-0.3
小計	0.0 8,035	-0.8 7,973	0.9 8,045	1.7 8,182	2.1 8,353	0.6 8,405	0.9
他ガス事業者 への供給	-1.0 464	3.3 479	19.8 574	0.8 579	1.8 589	0.3 591	4.9
合計	0.0 8,499	-0.6 8,452	2.0 8,619	1.6 8,761	2.1 8,942	0.6 8,996	1.1
家庭用1戸 当たり販売量	-3.6 31.3	0.3 31.4	-0.7 31.2	-0.3 31.1	-0.4 30.9	-0.3 30.9	-0.3

(注)各欄の左肩は対前年伸び率(%)。販売量は45MJ/m<sup>3</sup>で表示しており、届出値(46MJ/m<sup>3</sup>)と異なります。各区分で四捨五入しています。

なお、当社の供給区域内における新設工事件数は、以下のように年間約8万件から10万件の水準で推移するものと見込んでいます。

年度末のお客さま数(取付メーター数)は、2018年度には約730万件となる見込みです。

(単位：千件)

	2013年度 (平成25年度) (実績見込)	2014年度 (26年度)	2015年度 (27年度)	2016年度 (28年度)	2017年度 (29年度)	2018年度 (30年度)	13～18年度 年平均 伸び率
新設工事件数	13.7 99	-4.8 94	-4.2 90	-0.7 90	-5.2 85	-2.7 83	-2.0
お客さま数 (年度末)	0.6 7,129	0.5 7,162	0.5 7,199	0.5 7,235	0.5 7,270	0.5 7,303	0.5

(注)左肩は対前年伸び率(%)

## (2) 原料消費計画

需要の増加により、2018年度には、LNGの消費量は745万t、LPGの消費量は19万tとなる計画です。安定的な供給を確保するため、今後もLNGおよびLPGの確実な調達に努めます。

(単位：千t)

	2013年度 (平成25年度) (実績見込)	2014年度 (26年度)	2015年度 (27年度)	2016年度 (28年度)	2017年度 (29年度)	2018年度 (30年度)
LNG消費量	7,038	7,024	7,114	7,215	7,437	7,448
LPG消費量	138	147	170	183	162	185

## (3) 設備投資計画

将来の需要増に対応した製造能力の増強や、保安・安定供給のための供給設備の入れ替え、地震・津波等の災害を想定した製造・供給設備での対策工事などへの投資を中心に、2014年度から2018年度の累計設備投資額は、2,579億円となる計画です。

\*金額は各区分で切捨て表示 (単位：億円)

	2013年度 (平成25年度) (実績見込)	2014年度 (26年度)	2015年度 (27年度)	2016年度 (28年度)	2017年度 (29年度)	2018年度 (30年度)	14～18年度 合計
製造設備	61	84	101	119	52	35	393
供給設備	509	372	407	406	373	393	1,953
業務設備	47	77	37	36	24	24	200
附帯事業設備	1	6	15	7	1	1	33
合計	621	540	562	570	451	454	2,579

### 【主要製造設備計画】

設備名	容量	設置場所	設置年度
LNG貯蔵設備	23万kl	泉北製造所第一工場	2015年度(予定)
LNG気化器	150t/h ×2基*	姫路製造所	2016年度(予定) 2017年度(予定)

\*うち1基は、60t/h×2基の廃止に伴う更新

### 【主要導管計画】

路線名	総延長	区間	開通年度
姫路・岡山ライン	約85km	兵庫県姫路市～岡山県岡山市	2014年度(予定)
第2東部ライン	約11km	大阪府泉大津市～四条畷市	2018年度(予定)

以上